

第3回 天神川氾濫災害調査委員会 議事概要

1 日時 令和5年8月7日(月) 14:00～15:15

2 場所 兵庫県民会館7F 亀

3 出席 大石委員長、神田委員、角松委員

4 委員からの意見等

(1) 氾濫災害の発生要因について

- ・ 事務局から、浸透破壊の要因は「仮締切工の通水断面」が計画より小さかったこと、「河床部の遮水性」が確保されていなかったこと、以上の2点であることを説明した。
- ・ 委員からは以下の意見があった。
 - ① 各基準の適合状況に示されている断面図の場所及び川裏法面勾配を明示すること。
 - ② 仮締切堤の構造について、既設堤防との相違が分かるように資料に追記すること。
 - ③ 解析には様々な仮定を含んでおり、不確実性があることにも留意しておく必要がある。

(2) 今後のスケジュール

- ・ 次回は令和5年秋頃に開催する。